

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	卸売機能健全化推進事業(卸売市場事業特別会計)	会計	卸売市場	事業No.	453	施策順No.	11-038
		事業種別	政策・その他	予算科目	1-1-1-10-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	商業・市街地活性化課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	S45	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	卸売市場構成会社						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		会社数		4	4	4	4	
	意図	健全な経営を維持する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	年度売上前年対比(%) 平成19年度 14,168,458千円, 平成20年度 12,249,777千円 平成21年度 10,930,310千円	100	87	89	100	99	100	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	22年度売上げの前年度対比は99.6%であり、2年続きのマイナスから、ほぼ横ばいに踏みとどまることができた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	卸売市場の管理運営 卸売市場運営審議会の開催 公設地方卸売市場協議会・研修会への出席 卸売市場施設の工事、補修、点検等		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 卸売市場の管理運営に係る事務費 2 卸売市場運営審議会の開催 3 公設地方卸売市場協議会・研修会への出席 4 取扱高	1 事務費 2 審議会の開催回数 3 協議会の出席回数 4 取扱高	1 1式 2 1回 3 1回 4 10,891,443千円
23年度実施計画	1 卸売市場の管理運営に係る事務費 2 卸売市場運営審議会の開催 3 公設地方卸売市場協議会・研修会への出席 ※震災により中止された。 4 取扱高	1 事務費 2 審議会の開催回数 3 協議会の出席回数 4 取扱高	1 1式 2 1回 3 0回 4 10,891,443千円

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	市場使用料他
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他	7,919	3,670	3,712		
一般財源						
計(A)	7,919	3,670	3,712			
正規職員所要時間			700			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			2,503			
トータルコスト A+B			6,173			

4 事業に対する市民や議会の意見

小売店にとっては、仕入れに必要な施設である。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	小売業1店舗当たりの売上額(万円)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・卸売市場は小売業にとって必要な施設であり、健全な運営の維持は地域商業・流通の安定に繋がる。		
	後期に向けた課題	・特になし。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・建物が老朽化しており、必要な施設改修等を市場内事業者と協議しながら進めている。		
	後期に向けた課題	・特になし。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・最低限の経費で事業を行っている。		
	後期に向けた課題	・特になし。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・卸売市場は、市民に新鮮で安心、安全な食品の安定的かつ効率的な供給する役割を担っており、市の関与は適切である。		
	後期に向けた課題	・特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	・なし。		
	後期に向けた課題	・なし。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・卸売市場を取り巻く環境は、市場外流通の増大等で厳しさを増しており、平成20年のリーマンショック以降、長野県内の全公設地方卸売市場で売上げが減少している。22年度の売上げはほぼ前年と同じであったが、東日本大震災により水産物の流通に大きな影響が出るのが予想され、今後も厳しい状況が続くと思われる。		
	後期に向けた課題	・市場の民営化や委託も選択肢の一つとして、市場のあり方を検討していく必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------